2022年12月23日

関西学生パワーリフティング連盟　新型コロナウィルス感染症対策ガイドライン

　１．全般

１）会場内では原則マスクの着用を行う。

２）会場内での大声での会話、声援は控える。

３）参加者はこまめにアルコール消毒液等で手指を消毒すること。

４）会場内の複数の人が触れる場所や共用する物品は定期的に消毒する。

５）会場へは、以下入場制限を行う。

①体調が良くない場合(発熱・咳など)

②同居中の家族や身近な人に新型コロナウィルスの感染が疑われる、もしくは感染が疑われる人と接触した場合。

③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

＊当日に体調不良者が出た場合には、大会実行委員長の判断で、その者のみ帰宅させる。

６）入場者全員が問診票（添付資料）へ記入を行い、大会実行委員に提出する。

＊問診票の提出が無い場合、入場を禁止する。

７）食事の時は十分な距離（１ｍ程度）を空け、会話をしない。

８）換気扇は常時動かし、窓、ドアも開放する。

９）役員席、放送席は１メートル以上の距離を開ける。困難な場合、仕切りを設置する。

10）飲食物のゴミは各自持ち帰る。

３．開場、受付

１）開場、受付を行う際は入り口に誘導員が立ち、入り口付近で密集しないようコントロールする。

　　セッションごとに受付を分けて実施するなどし、入り口で混雑しないようにする。

２）入口に消毒液を設置し、手指を消毒するとともに、検温を実施する。

　　受付の際に問診票を提出させる。問診票の提出がない、内容に問題がある場合は入場させない。

３）受付担当は接触感染を防止するため、手袋を着用する。また必要に応じてフェイスガード等を着用し飛沫による感染を防止する。

４．コスチュームチェック

１）並ぶ際に１メートルの距離を保てるよう、床に貼った導線（ガムテープ）に従って、選手は並ぶ。

２）コスチュームチェックを行う役員は手袋をつけ、選手の道具に直接触れないようにする。

５．検量

１）検量室に一度に入るのは役員含めて5人までとする。

入場規制を行う誘導員の指示に従うこと。

２）検量係の役員は、マスク或いはフェイスシールドを着用すること。

　　検量の際にマスクを外す場合は、会話をしないこと。

３）体重計は都度アルコールで消毒を行う。

４）選手は検量が終わり次第速やかに更衣室から退出する。

５）検量室の常時換気が困難な場合は、検量係の役員が選手の入れ替わりの際に扉を開放し、十分に換気をすること。

６．開会式

１）参加者はお互いに1メートル以上の距離を取るよう並ぶ。

２）選手宣誓は距離を取って行うなどして密を避ける。

７．ウォーミングアップ

１）順番待ちの際は1メートル以上の距離を取る。

２）シャフト・ベンチ台などの器具は使用する人が変わるたびに消毒を行う。

消毒を専門とした補助員をウォーミングアップ場に配置する。

３）選手は可能な限りマスクを着用する。高重量を扱うなどで外す場合は、正面に人がいない状況を作ること。ただし、マスクを外した状態で会話をしないこと。

８．競技中の選手

１）試技中はマスクを外して行ってもよいが、試技が終了する度に速やかに着用し、外した状態での会話を行わない。

２）大会中は可能な限り2メートル、最低でも1メートルの距離を取る。

３）粉状のすべり止め(炭酸マグネシウム)は共用しない。

９．競技中の審判

１）マスク或いはフェイスシールドを着用する。

２）審判の器具(判定ランプのスイッチ等)は交代のたびに必ず消毒を実施する。

３）主審と選手の間は２ｍ距離をとる。困難な場合はパーティション等で仕切りをすること。

４）審判は着任前、着任後に必ず手指の消毒を実施する。

１０．競技中の補助員

１）プレート・シャフトに直接触れないよう、すべり止めつきの軍手を着用する。

２）試技が終わる度にシャフトを消毒する。ベンチプレスの時はベンチ台も消毒する。

３）消毒に使用したペーパータオルなどは、適宜、専用のゴミ袋に捨てる。

４）ベンチプレスのセンター補助員(選手と向かい合う位置に来る者)はフェイスシールドを着用する。

５）万が一、試技中に流血があった場合、使い捨てゴム手袋をして処理した後、アルコール消毒液で消毒する。

１１．運営

１）選手から重量申請カードを受け取る際は、使い捨てゴム手袋をして受け取る。

２）重量申請カードは受理後、速やかにビニール袋等に入れて廃棄する。

１２．閉会式

１）開会式と同様、距離を取って行う。

２）メダルは手渡し、選手自身に首にかけてもらう。

３）選手及びプレゼンターはマスクを着用する。なお写真撮影の際にマスクを外す場合は、会話を行わないこと。

４）選手及びプレゼンターは握手等の身体的接触を控えること。

１３．解散後

１）出入口での参加者の密集を防ぐため誘導係を設置し、コントロールする。

２）会場から出る際も必ず手指の消毒を実施する。